

序 章

東京都市大学
学長 中村 英夫

東京都市大学学則第 1 条の 2 において「本大学は、教育研究水準の向上を図り、前条の目的及び社会的使命を達成するため、教育研究活動等の状況について自ら点検及び評価を行い、その結果を公表するものとする」ことが定められている。自己点検・評価は本大学にとって、学則上に定められた最重要事項であり、東京都市大学は自ら進んで認証評価を受けるものである。

東京都市大学（旧：武蔵工業大学）のこれまでの自己点検・評価活動を振り返ってみる。本学は、平成 5 年 8 月に大学基準協会の「加盟判定審査」を申請し、審査の結果、平成 6 年 4 月 1 日付で加盟登録が認められた。平成 8 年 8 月には、大学基準協会の「相互評価」の審査を申請し、平成 9 年 4 月 1 日付で、平成 18 年度までの認定資格を得た。平成 14 年には学校教育法の改正に伴い、平成 16 年度以降わが国の大学は 7 年以内の周期での認証評価が義務付けられた。平成 14 年の学校教育法の改正を受けて、本学は平成 15 年度に大学基準協会の「相互評価」の審査を申請し、平成 16 年 4 月 1 日付で 7 年間（平成 22 年度いっぱい）の認定資格を得た。また、平成 19 年 7 月には認定を得た際に指摘された勧告・助言に対する改善報告書を提出した。

本学では、学則上の自己点検・評価を実行するために、平成 5 年度、8 年度、11 年度、14 年度には「武蔵工業大学白書」を、平成 17 年度には「自己点検・評価書」を発行し、自発的に点検・評価を行ってきた。

平成 16 年 4 月 1 日に認定を受けてから、平成 19 年 4 月 1 日より、工学部の改組により新たに知識工学部が設置された。さらに、武蔵工業大学（学校法人五島育英会に設置されている）は同法人に設置されている東横学園女子短期大学と、平成 21 年 4 月 1 日をもって統合することになった。大学の名称も平成 21 年 4 月 1 日から東京都市大学となり、2つの学部（都市生活学部、人間科学部）が新たに加わり 5 学部体制となり、これまでの工学を中心として発展してきた本学が本格的な総合大学化を図ることになる。

武蔵工業大学と東横学園女子短期大学の統合に際して、本学では「ブランドヴィジョン委員会」を設立し、学内関係者はもとより、学外関係者も含めた知恵を結集して、新たな大学の理念・方針の策定を行った。当然、その理念・方針の策定は、武蔵工業大学 78 年、東横学園女子短期大学 50 年の歴史・伝統とそれぞれの大学が掲げてきた理念・方針を尊重し、かつ、社会的動向に適応することを原則とした。

本学は平成 22 年度までの認定資格を得ているものの、評価を受けた時との状況が大きく変化することになる。そこで、大学統合・校名変更による新しい大学の出発を期に、大学認証評価を受けることを平成 20 年 4 月の「武蔵工業大学自己評価・教員業績評価委員会」で正式決定した。

少子化と大学の大衆化は、大学に対してこれまで以上の個性と独自の使命を要求している。本学はこのような社会・時代状況に則した大学づくりを目指し、組織および内部改革を試みている。この新たなる出発期における、今回の本学に対する認証評価結果については、その結果を真摯に受け止めて、不断の自己点検・評価活動を自らの健全であり発展的な改革へと結びつけていこうと考えている。
